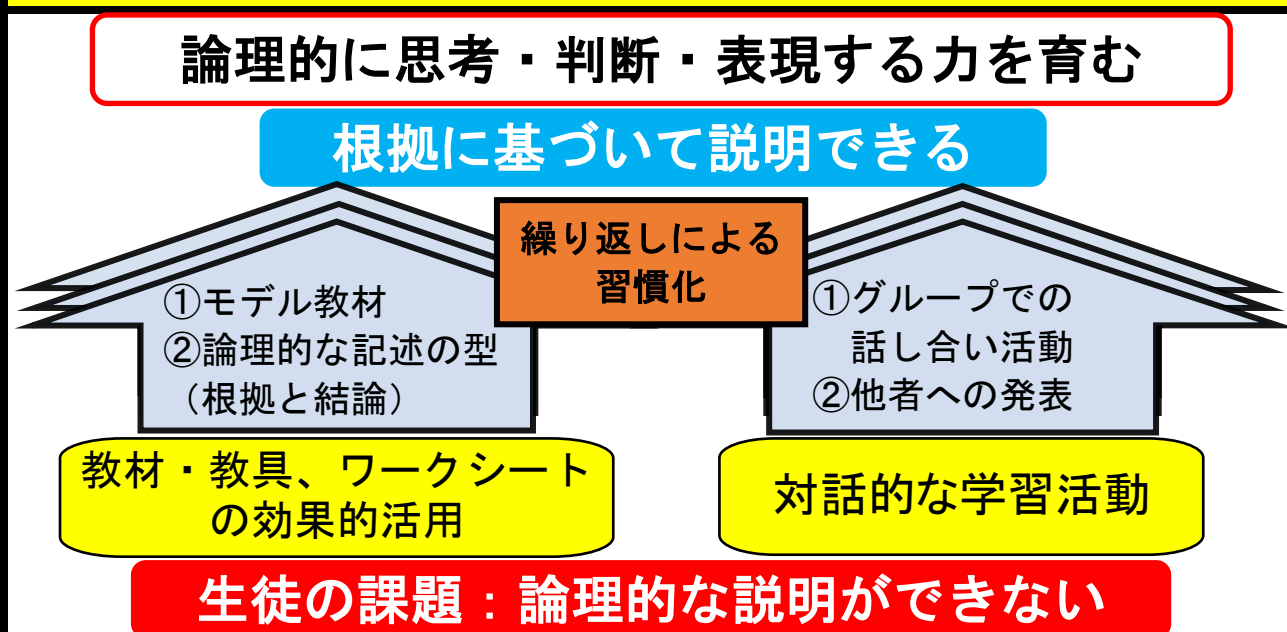


平成30年度	前期長期研修	校種・領域	高校・地学
所属学校	向陽高等学校	氏名	大城 太志
テーマ	論理的に思考・判断・表現する力を育む指導の工夫		
サブテーマ	対話的な学習活動を取り入れた授業づくりを通して		
概要	＜研究内容＞ 視覚化された効果的な教材・教具の活用と、ワークシートに「記述形式の型」を取り入れる。そして、毎時間のまとめの論理的な記述と対話的な学習活動を習慣化する取り組みを行う。その結果、多くの生徒が地学現象を根拠に基づいて文章化して説明できるようになり、論理的に思考・判断・表現する力を育むことができた。		
キーワード	論理的な思考・判断、論理的な表現、対話的な学習、モデル教材、ワークシート、根拠、記述形式の型、大学入学共通テスト		

イメージ図



成果

- ワークシートと教材・教具を工夫し、根拠に基づいて結論を述べるという記述形式の型を習慣化させることで、より論理的な文章構成で記述できる生徒が多くなり、ほとんどの生徒が普段から論理的に記述し説明することを意識するようになった。
- 対話的な学習活動を取り入れ、習慣化することにより、相手に分かりやすく伝えるために必要な表現方法を他者の発表から取り入れるなどして生徒自身が思考するようになり、より論理的に表現する力が身についた。